

戦略提言会議及びアンケート調査について

1 戦略提言会議

- 戦略の策定にあたり、重点検討分野の議論を深めるため、分野ごとに戦略提言会議を設置し、必要な合意形成、意見集約等を図る。
- 戦略提言会議の委員構成の形式は、分野ごとの性質に応じて、関係機関参画型又は市民参画型のいずれかとする。
- 推進会議委員（座長を除く）は、戦略提言会議についても各委員の専門分野に対応したテーマの会議へ参加する。
- 市民参画型で開催するテーマについては、長期的に市行政に携わる立場から、採用10年未満の市職員有志を参加させ、公募市民とともに議論を行う。

重点検討分野	① 観光振興	② アクティブシニアの積極的な社会参加と健康づくり	③ 若者目線からの定住・結婚・子育て支援
委員構成形式	関係機関参画型		市民参画型
構 成 員	10名程度	10名程度	10名程度
推進会議委員	清須企業懇話会、県教育委員会生涯学習課文化財保護室、中日信用金庫	愛知医療学院短期大学	県立新川高等学校、日本労働組合総連合会愛知県連合会尾張中地域協議会
関 係 者	市観光協会、市商工会、美濃路まちづくり推進協議会	市シルバー人材センター、市社会福祉協議会	
公 募 市 民		シニア世代（55歳以上）5名程度	若者世代（18歳～39歳）5名程度
そ の 他	市担当課長（企画政策課、産業課、生涯学習課）	市若手職員有志 5名程度、コーディネーター	市若手職員有志 5名程度、コーディネーター
役 割	本市が有する歴史資源（美濃路・清洲城・朝日遺跡）を活かした観光振興を図るため、関係者間で目的意識を共有し、今後展開すべき施策について合意形成を図る。	事前に実施する市民アンケート等により、目指すべき施策の方向性を整理した上で、それぞれの世代の市民の生の声を聴取・反映させ、市民の意向を踏まえた施策展開を図る。	

2 アンケート調査

重点検討分野	② アクティブシニアの積極的な社会参加と健康づくり	③ 若者目線からの定住・結婚・子育て支援
調 査 名	ボランティア・市民活動団体アンケート	住まい・子育て・結婚に関するアンケート
目 的 ・ 概 要	シニア世代の積極的な社会参加の受け皿として想定される市内のボランティア・市民活動団体から、活動状況やシニア世代を中心とした市民との連携意向等を聴取し、団体側のニーズを把握	若い世代の視点から、住まい・子育て・結婚についての現状・課題・行政への要望などを聴取し、若者目線からの施策展開に反映
調 査 対 象	市社会福祉協議会市民活動ボランティアセンター登録団体（約100団体）	18歳～39歳の市民（2,000人）
調 査 手 法	郵送発送・郵送回収	住民基本台帳により無作為に抽出した2,000人に対し、郵送発送・郵送回収
調 査 時 期	発送：平成27年8月25日（火） 回収：平成27年9月25日（金）	発送：平成27年8月25日（火） 回収：平成27年9月15日（火）
主 な 設 問	<ul style="list-style-type: none"> ・団体基本情報（会員数・活動年数・活動分野 等） ・団体の活動状況（時間帯・場所・今後力を入れたい活動 等） ・ボランティア・市民活動を盛んにするために市が今後力を入れるべきこと ・アクティブシニアに対する考え方（期待すること・参加する効果 等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人基本情報（年齢・性別・住まい・職業・年収 等） ・生活や住まい（市の住みやすさ・魅力 等） ・子育て（喜び・楽しさ・理想の子ども数・不妊 等） ・仕事と家庭の両立（働きやすさ 等） ・結婚（考え方・未婚の理由 等） ・若い世代に暮らしやすい清須市とするために、市が充実させる必要があること

※ シニア世代の社会参加に関する現状や意向の把握については、**既往の生涯学習・健康・高齢者福祉に関する市アンケート結果を活用**

【既往の市アンケート】

- ・生涯学習に関する市民意識調査（H25.7実施）
- ・高齢者福祉計画等アンケート調査（H26.5実施）
- ・健康に関するアンケート調査（H26.6実施）

【分析の視点】

- ・生涯学習の状況、施設の利用状況、情報取得 等
- ・地域貢献活動、見守り活動、学習成果の還元 等
- ・健康状態、悩み・不安、利用した保健事業、市への要望 等
- ・生きがい、交流・人づきあい 等

